

経営体の概要

- 所在地：福岡県うきは市
- 経営体名：野上耕作舎
- 栽培作物：水稻15ha、小麦30ha、大豆10ha
- 従事者数：4名（本人、妻、後継者、従業員1名）
（令和6年4月現在）

導入技術

- K S A S（クボタスマートアグリシステム）
 - ・営農支援システム
ほ場管理、作業計画、作業指示
及び作業記録を作成
 - ・食味・収量コンバイン
システム対応のコンバインによる食味・収量の測定

導入経緯

- これからの農業のあり方を考えた場合、先進的な技術導入の必要性を強く感じていた。
- （株）クボタの展示会でIoT農業の紹介や農業用機械の情報を得たのがきっかけとなり、技術を導入した。

取組の特徴・効果

- タブレット端末で作業の進捗状況が確認できることで、効率的に作業を進められるようになった。
- 食味・収量の測定により、タンパク含有量の数値を基に仕分けし販売につなげられるようになった。また、ほ場の収量分布を把握することにより、効果的な肥培管理が可能となった。
- 減農薬栽培に取り組んでいることもあり、必要最小限の農薬散布にドローンを活用している。
- 一定の経営改善にはつながれているが、更なる省力化に向け、今後は、水管理システムの導入によりほ場見回りの負担軽減ができるような技術を導入したい。



営農支援システム 食味・収量コンバイン

（左：収穫作業、右：食味・収量の測定結果）